

# みんなの 町議会

 神石高原町

第43号  
平成27年7月15日

有終完美

～実胆にそじて～

負けるもんかあ～

■第3回議会報告会	.....	4
■町政のここを聞く	.....	6
■ありやあどうなったん	.....	15

(神石高原中学校 体育祭)

6月追加補正  
一般会計  
5938万円増

# 大規模 トマト 安田・李地区

# 団地整備 断念 6月 定例会

## 平成27年6月 一般会計 補正予算

単位:万円(四捨五入)

費目	補正予算	補正後予算	主な内容
議会費	▲519	9117	職員人件費▲15
総務費	1567	14億6259	ふるさと応援奨励経費424 自治宝くじ助成事業 500
民生費	1583	17億8080	臨時福祉・子育て特例給付金事業2219 国民健康保険特別会計操出経費▲126
衛生費	▲2006	10億8308	清掃費▲1471 不可燃物集積庫設置助成事業55
農林水産費	1158	9億951	地籍調査事業▲1906 新規就農者支援事業226 林業再構築プロジェクト事業348
商工費	73	1億7708	自然公園等管理運営経費150
土木費	1350	7億1019	町道維持補修経費1470 単独町費町道整備事業290
消防費	0	4億9299	
教育費	1968	7億3941	児童生徒送迎対策事業748 小学校校舎施設管理経費1603
災害復旧費	0	3	
公債費	0	14億5927	
諸支出金	764	4億5326	協働のまちづくり事業基金積立経費722
予備費	0	4000	
合計	5938	93億9938	

議員定数等を見直し、町民の負託に応えられ、町民に信頼される議会となるため議会議員の定数等を調査・検討し、12月議会までには議員定数等を決定する。

### 議会議員定数等調査特別委員会設置

## 特別会計・病院事業会計 補正予算

単位:万円(四捨五入)

会計名	平成27年度	
	6月補正額	補正後予算額
国民健康保険特別会計	755	12億6135
内 事業勘定	755	12億5755
内 診療施設勘定	0	380
後期高齢者医療特別会計	198	4億598
介護保険特別会計	3392	19億2842
内 保険事業勘定	2993	19億723
内 介護サービス事業勘定	399	2119
簡易水道事業特別会計	62	2億5162
飲料水供給施設事業特別会計	0	3940
農業集落排水事業特別会計	53	2億5203
分収育林事業特別会計	0	5
総合開発事業特別会計	6	2846
特別会計計	4466	41億6731
病院事業会計	0	2億9711
合計	4466	44億6442



本庁舎の太陽光パネル



高値取引が続く三次家畜市場



地質調査する豊松小学校グラウンド

### 6月補正のおもな事業

トマト選果場情報管理システムの更新	619万円
広島血統和牛増産支援	1600万円
豊松小学校グラウンドの地質調査	1603万円
防災拠点としての電源確保	1550万円

6月定例会は6月10日から17日まで開かれました。初めに、町長より安田・李地区トマト団地整備計画を断念した報告があり、今後は耕作放棄地の活用を図り、トマト栽培の振興に取り組みたいと述べました。平成27年度各会計補正予算や、専決処分承認3件、工事請負契約の締結2議案を含め16議案すべて原案通り可決しました。また、第3セクターの経営状況などの報告が8件ありました。一般質問では、8人の議員が当面の行政課題をただしました。

# 第3回議会報告会に多数のご参加ありがとうございました

おもなご意見を掲載しました

## 本庁舎の今後は

**町民** 現庁舎の耐震調査の結果や改築移転費用など、今後について町民に十分な説明がない。

**議会** 本年の3月には、耐震結果も出ていますので、町へ早く方針を出すように申し入れている。

## 優先的に整備を

**町民** 町立病院の整備を優先にするべきだ。

**議会** 検討委員会で出た方針をもって、改修、新築、病床数などについて町と協議中である。

## 真剣に考える

**町民** 議員定数について、私たち町民にどのくらいが適当かと聞かれても判断できない。もっと自分たちで真剣に考えてもらいたい。

**議会** 6月定例議会で議員定数等調査特別委員会を設置し検討する。本年12月定例会には結論をだす。

## 柔軟な対応を

**町民** 議会政治倫理規程は、地域で役員を選出するのに支障になる。臨機応変に、柔軟な対応をしてもらいたい。

**議会** 今後、見直しを含め検討する。



ケチャップなど加工ができるトマト工房

## 詳細な火災情報を

**町民** 現在の火災発生放送は、現場の把握が大変難しい。詳しく位置確認できるように、福山地区消防組合へ要請してほしい。

**議会** 個人情報保護条例の関係もあるが、町独自の第2放送の検討などを含め、町へ要望していく。

## 跡地利用は

**町民** 旧神石中学校の跡地利用はどうするのか。

**議会** 要望書をもとに、町で検討中である。

**町民** 旧豊松中学校の跡地利用について、要望書を提出しているが、その後報告がない。

**議会** 要望書をもとに、町で検討中である。

## 6次産業化の推進を

**町民** トマト生産者は大量に出るトマト規格外品の扱いで頭を悩ませている。有効活用できるように6次産業化に向けて取り組んでもらいたい。

**議会** 付加価値をつけて売り出せるよう、産業建設常任委員会を中心に検討中である。

## 協働のまちづくり構築を

**町民** 協働支援センター構想について、振興会長会議で概要書を見たが、中身の報告はなかった。議会の対応、研究していることがあれば。

**議会** 説明を受けたばかりだ。これから町民が理解し、協力を得られるような体制に向けて検討する。

## 山林の活用を

**町民** 今後人口減少や高齢化が進み、山林の管理がますますできなくなってくる。

町全体として、山林の管理をどのように考えているのか。

**議会** 山林活用について、総合的に検討する。

## 銃器狩猟免許取得を

**町民** 現在、わなの免許取得者は多いが、第1種の銃器狩猟免許取得者は少ない。女性職員も狩猟免許を取得している市町もある。町で取り組みはできないか。広く住民全体に呼びかけながら、町職員や地域おこし協力隊などにも免許をとってもらうよう、働きかけていきたい。

## 周知徹底

**町民** 神石牛ブランドを町民全体が把握する取り組みを。

**議会** 議会としても積極的にPRする。

## 更なる充実を

**町民** 全国では、神石高原町よりも小さな町で、より手厚い定住対策があると聞けが、もっと充実を図るべきでは。

**議会** わが町は総合的に取り組んでいるところであるが、子育てや定住対策のさらなる充実に向け、努力する。

## 積極的に

**町民** 地方創生事業に取り組みにあたり、議会と執行部が一体となって将来を見通した計画をぜひ立てていただきたい。

**議会** 議会として勉強会をし、積極的に関わっていく。

皆様の多くのご意見・ご提案を今後の議会活動に生かしていきます。



解体中の旧神石中学校



神石郡森林組合による森林活用

# 町政の「こころ」を聞く

質疑の一部を要約してお伝えします

質問時間は、答弁を合わせて一人二時間以内で二問一答方式

十分でない。



松本 彰夫 議員

**Q** 病院や施設で亡くなられ、実家ではなく、直接やすらぎ苑に来られる人もある。遺族の控え室が必要ではないか。

**A** 町長 今後、このような例が増えると思われる。告別室が2室あるので、1室を和室に改造して、湯棺から通夜が行えるよう畳を敷く。

**Q** 斎場やすらぎ苑は、火葬と併せて葬儀も行われている。和室の座敷を、机・椅子に変えたらどうか。

**A** 町長 現在、座敷の机・椅子を、座敷の椅子に利用され、全て椅子の方が良い人はロビーの机と椅子を利用してもらう。近い将来大規模な改修が必要なので、その時期に考えたい。

**Q** 葬儀も家族葬など多様化してくる。方法や料金の設定など検討すべきでは。

**A** 環境衛生課長 葬儀の形態の変化は認識している。告別室を、家族葬や火葬のみ待合室として利用し

## 教育長の決意

てもらう。

**Q** 教育長の教育行政に取り組む姿勢と決意は。

**A** 教育長 新教育長制度に移行したが、姿勢と決意は変わらない。

**Q** 教育長が町長の任命制になったが、今後町長との関係は。

**A** 教育長 個別の教職員の人事については、町長の権限にかかわらず事項で、協議の対象にならない。予算については、協議するが、予算の編成や執行権は町長の権限

**Q** 学校職場の長時間労働の原因と解決策は。

**A** 教育長 教諭の入室・退校時間の記録では、月平均62時間。この状況改善に向け、取り組んでいるが

**Q** 教職員の健康管理は。

**A** 教育長 校内衛生委員会を開催し、健康管理に努めている。



椅子・机を要望するやすらぎ苑和室

## 問 やすらぎ苑の改修と運営は

答 近い将来大規模な改修を

## 問 就学支援を拡大しては

答 挑戦していきたい

**Q** 油木高校から農業技術大学に進学した場合に就学支援を行う事業が創設されたが、この認定基準などはどうなっているか。

**A** 町長 対象は町内に住所を有する油木高校・技術大学に限ったものでなくともいいのではないかと

## 就農希望者の随時受け付け

木高等学校卒業生で、県立農業技術大学校へ進学した生徒や、定住希望の町外油木高等学校卒業生だ。

**Q** 農業の振興は喫緊の課題であり、特に新規就農者の定住は、荒廃農地の抑制や地域の活性化などで、脱限界集落に必要なものだ。

**A** 町長 新規就農希望者の受け入れ体制は確立しているのか。また就農支

援ができていないのか。今までに、何人が石高原町で就農したのか。

**A** 町長 新規の就農希望者は随時受け付けており、本人希望を確認し、個別に対応している。

就農研修が必要であれば、農業公社や先進的農家での受け入れを行っているっており、平成21年度より本年3月まで法人や畜産関係、トマトを含む野菜・水稲などに17人が就農している。

## 郷土を愛する態度

**Q** 学校教育法では、我が国と郷土を愛

する態度を養うことなどが教育の目標とされており、伝統と文化を尊重することが重要だ。

子ども達は、地元の文化や伝承・伝統を知らない場合が多い。地域の文化財・伝承などを知らせる必要があるのでは。

**A** 教育長 遠足や社会見学により地域を知る活動をおこなっている。学校教育だけでは難しいので家庭の協力もお願いしたい。



赤木 俊二 議員

新規就農希望者の受け入れ体制は確立しているのか。また就農支



頑張る農業クラブ（油木高文化祭）



横尾 正文 議員

### 問 ブライダル事業への取り組みは

答 婚活サポーターを配置

**Q** ブライダル関連事業への取り組みは。

**A** 町長 昨年7月にスコラ高原、12月に神石高原ホテルで婚活イベントを実施した。カップルは8組成立したが、交際を継続しているのは1組である。カップリング前後のお節介役が必要なので、今年度は、若い既婚者の婚活サポーターを地域おこし協力隊と

**Q** 町内企業の就業支援事業への取り組みは。

**A** 町長 企業に向けては、雇用奨励補助金の制度を実施している。さらに、今年度から新規卒業者の町内企業への就職を促進するため、「新規卒業者雇用奨励助成交付事業」を

**Q** 就業支援事業は

**A** 町長 人口減少対策推進本部ワーキングスタッフ会議のメンバーから3人ほど配置する。また今年度からは、町が主催するイベントだけではなく、独身の男女で会うための交流イベントの企画実施に対して「結婚活動支援事業補助金」を創設した。

**Q** 地籍調査の進捗状況

**A** 町長 第6次国土調査事業10カ年計画（平成22年度～平成31年度）では、93%を完了目標としている。現状のペースで行くと地籍調査の完了は、目標よりかなり遅れ込み、豊松地区は平成37

**Q** 地籍調査が遅れている原因は。

**A** 町長 原因は、国・県からの交付金が削減傾向にあることや法務局の事務取扱が厳格化されたことが主な原因である。



森林境界明確化事業（神石地区）

**Q** 森林組合が、GPSによっての森林境界明確化を行っている。これを活用すれば早く調査が進むのでは。

**A** 町長 この森林境界明確化事業の測量結果は、精度の差異があり直接成果として反映できないが、最大限活用したい。



横山 素子 議員

### 問 社会的弱者対策は

答 自立の支援を行う

**Q** 社会的弱者対策として生活困窮者の就労相談などにより、自立を支援し、生活保護の増加を防ぐための対策は。

**A** 町長 高齢者の場合、経済的自立へ向けた就労支援は考えにくい。生活困窮者自立支援法に基づき相談窓口を福祉課へ設置している。生活困窮者自らが自立しようとする者に対し、日常

生活における自立、生活社会における自立など相談内容により、関係機関と連携をとりながら計画的な自立支援を行う。

**Q** 低所得高齢者を対象としたプレミアム商品券を発行しても良いのでは。

**A** 町長 今後の商品券の販売動向もみながら検討したい。

**Q** 認知症施策推進総合戦略で今までの成果と今後の課題は。

**A** 保健課長 認知症の程度に応じた適切なサービスの提供や認知症に対する理解と予防の推進、家族の支

### 認知症予防対策は

**Q** オレンジプランの中で認知症の人の含む高齢者への理解を深めるため、学校教育の推進や小中学校で認知症サポーター講座の開催という項目がある。

**A** 保健課長 認知症の早期発見に向けて認知症初期集中支援チームの設置や認知症地域支援推進委員の配置、また、認知症サポーター医の確保に取り組む。

援などが図られた。課題は、ケアに携わる多職種との連携、若年性認知症施策の強化だ。今後は認知症の理解度の向上に努めたい。

**Q** 新オレンジプラン（認知症施策推進5カ年計画）に向けての取り組みは。



元気で長生きしてね（脳いきいき教室）

**A** 保健課長 平成26年度に神石高原中学校の1年生と三和小学校の5・6年生を対象にサポーター養成講座を行っている。これからも、理解を深めるために社会福祉協議会や教育委員会と連携をとりながら推進していく。

**Q** 高齢者の交流拠点施設の利用拡大など高齢者全体を見通した事業に取り組んでは。

**A** 保健課長 高齢者の生涯を通じた生きがいをづくり・健康づくり活動を推進するため、連携して活動の機会の充実や指導者の確保・身近な活動場所の整備に努めたい。



久保田 龍泉 議員

### 問 協働支援センター構想は

答 地域コミュニティの体制を構築

**Q** 自治振興会を中心にした今の制度の課題と協働支援センター設置によるメリットは。  
**A** 町長 過疎化や少子高齢化が進み、一部自治振興会では役員の担い手不足、集落活動が困難な地域もある。地域にある様々な団体、組織も継続が不可能になることも予想され、人口減少を見据えた地域コミュニティの体制を構築す

**Q** 支所長、センター長の業務分担、予算配分、予算執行権限は。  
**A** 町長 決定はしていない。今後各地

**Q** 振興会長に説明すれば済むことではない。住民の理解と協力を得て取り組むべきだ。  
**A** 町長 各地区の予

**Q** 支援センター設置により、今まで以上に行政の仕事が丸投げする可能性があるのでは。  
**A** 町長 行政力が落ち、住民サービスが低下した中、それを補っていく。丸投げの考えはない。

**Q** 住民説明会などの今後のスケジュールは。  
**A** 町長 支所長を交え各地区で検討をお願いしており、住民説明会は要望があれば説明する。



しっかりしてますシートベルト

**Q** 保育所児や小学生乗車のバスには  
**Q** スクールバスの安全運行は  
**A** 教育長 6月下旬に業者への安全講習会を実施する。

**Q** バスと乗用車の事故が発生した。業者への安全運行の指導は。  
**A** 教育長 原則補助員の乗車はできない。



橋本 輝久 議員

### 問 新トマト選果場が必要では

答 管理システムの更新で対応

**Q** トマトの出荷量が年々増加傾向である。  
**A** 町長 選果レーン管理システムが老朽化のため、6月補正予算で更新を行う。今は新システムによる建設計画はない。

**Q** トマト工房施設の稼働率の低さがある。  
**A** 町長 トマトケソースなどの加工処理を行っているが、計画数量までには至っていない。

**Q** 栽培時や選果場での不適合品の量が、どのくらいあるかなど調査し、根本的に加工処理計画を立てるべきでは。  
**A** 町長 6次産業化を進めるうえで

**Q** 耐火基準が不備であり、宿泊を中止した。現在集会施設として必要な排煙窓設置などの防火対策を計画している。  
**A** 町長 地方創生事業で、廃校舎などの再利用を促進するため建築基準法の規制緩和が検討されている。その状況を見ながら活用について検討する。

**Q** 道徳教育を進めるうえで、地域の歴史・文化・伝統行事・産業といった教育資源を活用し、我が町に誇りが持てると感じる教育が大切だが取り組みは。  
**A** 教育長 神石高原町道徳教育指導(地域教材)資料を作る。



現状のトマト選果場



村上 克朗 議員

### 問 公共施設の維持管理計画は

答 28年度中に行う予定

**Q** 地方創生の動きは、本町の自立的・主体性を最大限発揮して地域の実情に応じた、きめ細かな施策を可能にする観点から「まち・ひと・しごと創生事業費」がある。厳しい財政状況や少子高齢化、人口減少などの状況を踏まえ、公共施設などの維持管理、更新などの計画は。

**A** 町長 町が保有する施設の固定資産台帳の作成を進めてお

**Q** 旧新坂小中学校施設を解体後、地域指導型再生可能エネルギー事業に参画。また旧永野南小の跡地には地域還元型ソーラーシステムによるハウス農業。売電事業の実現を図ることにより、必要な生活機能を確保する「自治振興区」での定住自立構想の推進を図れないか。

**A** 町長 電力買取り価格の低下が今後

**Q** 観光客数の増大を図り、観光の競争力強化に向けて下帝釈に神竜大吊橋の建設計画を図っては。

**Q** 観光資源の充実は

**Q** 観光客数の増大を図り、観光の競争力強化に向けて下帝釈に神竜大吊橋の建設計画を図っては。



旧新坂小中学校施設



寄定 秀幸 議員

### 問 バイオマス発電の検討を

答 方向性を出したい

**Q** 町内で発生するバイオマス資源を利活用し、環境に優しい循環型社会を構築すべ

**Q** 森林資源や、家畜糞尿・生ゴミ、汚泥などのバイオマス資源を活用し、バイオマス発電を中心に、農・園芸、養殖、温水プールなど、総合的に取り組むため、協議会を設置するべきでは。

**Q** 地域包括支援センターの充実を

**Q** 介護支援ボランティア制度導入

**Q** 認知症対策への取り組みは。



認知症対策に取り組む地域包括支援センター

**Q** 地域包括ケアシステムへの取り組み

**Q** 地域包括支援センターの充実強化が必要では。

**Q** 保健課長 元気な高齢者の社会参加、介護予防のために検討したい。

**Q** 介護支援ボランティア制度導入

# 6月補正予算質疑

**まちづくり推進課**  
経営者と連携する。

**橋本議員** 自治宝くじ助成事業で、草木自治振興会、小島自治振興会(下阿下班)に250万円助成の内容は。小坂まちづくり推進課長  
都市住民と交流するため、備品などに活用。

**学校教育課**

**橋本議員** 豊松小学校グラウンドが一部陥没のため、地質調査費(ボーリング)を計上してある。  
地下水の流れや日々の変異などの調査も行い、大災害にならないために、細心の注意をもって取り組むべきだ。

**石田学校教育課長** 指摘の通り、詳細に調査し安全に対応する。

**横尾議員** 高原寮学習サポーター教室の講師が1人減の1人になっているが、町内で塾を経営されている方に要請が出来ないのか。  
**馬屋原教育長** 通年の講師がなかなかいない。町内の塾

**産業課**

**松本議員** 新規就農者支援事業で該当者の分野は。瀬尾産業課長 確定者1人は畜産経営、予定者は野菜と水稻栽培の経営である。

**住民課**

**松本議員** インターンシップで、トマト栽培の研修を受けた人が自立する場合、土地確保などの支援は。瀬尾産業課長 農業委員会なども協議して支援する。

**横尾議員** 町税の滞納にどんな要因があるのか。また、今後の対策は。  
**岡崎住民課長** 町民税は、町外へ転出する方からの徴収が出来ない場合がある。固定資産税は、相続の問題で登記が出来ない場合が多い。  
対策は、6月30日に行う滞納対策会議で検討する。

# 条例制定・改正 こんなことが 決まったよ

◆**専決処分**

- ・町税条例の一部改正
- ・国民健康保険税条例の一部改正
- ・旧神石中学校校舎・屋内運動場等解体工事  
工期変更 平成27年12月10日まで

◆**財産取得**

- ・消防団デジタル無線移動局無線装置  
取得価格 3723万8400円  
相手方 三保電機株式会社

◆**工事請負契約**

- ・小島住宅建替第1・2期新築工事  
請負金額 1億894万3千200円  
請負者 宮脇建設株式会社  
工期 平成29年1月31日まで
- ・来見小学校校舎耐震化工事  
請負金額 7527万6千円  
請負者 株式会社武田組三和支店  
工期 平成27年9月30日まで

◆**一部改正**

- ・町営住宅設置及び管理条例

◆**議決事項の変更**

- ・星の里定住交流センター(仮称)を分譲地内に建築するため、分譲区画を建設用地とし、販売区画数と処分価格の変更

# 追跡 ありゃあどうなったん?

## 「幻の温泉水」さんわ温泉水ミスト製造プロジェクト始動



神石高原の天然の恵み「幻の冷泉水」をあなたに届けたい

昨年、町ではさんわ温泉水を再調査した。その結果、アルカリ性単純冷鉱泉で、成分比率が美肌の湯や美人の湯といわれる温泉と似ており、無味で濁り成分がほとんどないため、化粧水に適しているという事がわかった。実際に利用された方から、肌がつるつる・すべすべするとの声もある。  
その冷泉水を使った化粧水ミストの製造元である会社へ相談したところ、100%冷泉水での製造が可能という事がわかり、このたび試作品を作ってもらった。この温泉水化粧水で多くの女性に美肌効果を体感してもらい、町の観光PRにつながる事を期待するものだ。  
現在、支援金を集めて、商品化へのプロジェクトが始動している。

詳しくは観光協会のホームページをご覧ください。

## 平成26年度 第3セクター販売状況

上段：26年度 / 下段：25年度 単位：万円(四捨五入)

会社名	売上	当期利益	施設管理料等	運営補助等
神石高原農業公社	7415	16		450
	7094	39		450
(株)帝釈峡スコラ	8377	▲307	843	
	8329	231	820	
(有)直売公社 まるごと市場	2億 973	276		320
	2億 2038	▲107		320
(有)油木百彩館	7689	▲57	18	100
	7838	▲7	18	153
(有)さんわ 182ステーション	4億 3992	85	216	
	4億 5358	403	359	



油木高校生による大盛況のなまず食堂(百彩館)

## 議員発議

全会一致 可決

・**議会議員定数等調査特別委員会の設置**  
住民からの議会に対する要望は多様化し、議会の責務は益々大きい。議会として議員定数等を見直すため、特別委員会を設置した。

全会一致 可決

・**地方財政の充実・強化を求める**  
今後策定する財政再建計画において、地方一般財源総額の現行水準の維持・確保を明確にすることなど

賛成6 反対6 否決

・**認知症への取り組みの充実強化**

# 元気なグループ紹介だよ

## 神石地区 高齢者介護研究会



私たちは、高齢過疎化の進む神石地区の人々が、住みなれた我が家、町で最後のその日がくるまで、生き活きと輝いて暮らしていただきたいという思いで、平成15年から保健・医療・福祉に係わる仲間と結成しました。

現在メンバーは11人です。最初は自分達の知識や技術を向上させようと、月1回の勉強会から始めました。

平成18年からは関心の高い認知症について、上手なお医者さんのかかり方、終活、元気づくりの話など、拡大勉強会と称して講演会や映画上映も行なっています。

また、昨年5月からは認知症予防カフェ「ふれあい」を第2・4火曜日に開いています。

発足して12年目を迎え、メンバーもほとんど変わらずに続いています。

考えるよりまず行動、何か出来ることがあるはずという思いで頑張っています。

今後とも応援よろしくお願ひします。

代表 高橋 文子

今回から当選者1人とさせて頂きます。

### 第25回 議会クイズ

《クイズ》空欄に適切な言葉をいれてください。

1. 広島〇〇和牛増産支援
2. 一般質問 新トマト〇〇〇が必要では
3. ありやあどうなったんさんわ〇〇〇ミスト製造プロジェクト

《ヒント》 議会広報をよく読んでね。

《応募方法》

ハガキに「答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢 議会への要望・ご意見なども記入してください。

正解者多数の場合は厳正な抽選により、1人の方に50000円分のやまなみ商品券をお送りいたします。

応募は、1人・1通に限らせていただきます。

《あて先》〒720-1522

神石高原町小島一〇二五神石高原町議会事務局「第25回議会クイズ係宛」

《締め切り》8月10日(月)消印有効

《個人情報取り扱いについて》

ご記入いただきました個人情報、賞品発送および『まちの声』などの目的以外には利用いたしません。

### 第24回議会クイズ当選者

- |      |         |
|------|---------|
| 油木地区 | 小川 一美さん |
| 神石地区 | 妹尾 清恵さん |
| 三和地区 | 小林 福春さん |
| 神石地区 | 金山 行子さん |

議会を傍聴してみませんか？ 次回の定例会は9月です  
日程は告知放送などでお知らせします 一般質問はケーブルテレビで放送します

### 編集後記

今、地域の主体性が求められており、地域ができることは自ら行動し、協力し合いながら地方自治を行う方向になっている。

協働のまちづくりは、よそ事ではなく自分のため家族のため後世のためにも、住民一人一人が真剣に考え、協力し合える社会を目指すという目的だ。意識をしっかりと持ち進めていくことが将来に希望がもてることだと感じている。

(橋)



- 議会広報常任委員会
- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 横山 素子 |
| 副委員長 | 赤木 俊二 |
| 委員   | 橋本 輝久 |
| 委員   | 横尾 正文 |

■発行 / 神石高原町議会 ■編集 / 議会広報常任委員会

発行責任者 議長 藤田晃己  
住所 / 広島県神石郡神石高原町小島二〇二五  
TEL 0847-89-3340  
FAX 0847-85-4201